

22. 傘の持ち主を尋ねる [1] [2]

①相手の傘だった

001B : ジャ ドーモネ。オセワサマデシタ。

じゃ どうもね。お世話様でした。

002A : ハイハイ ドーモ (B ハイ) オカゲサマデー。ハ ヨイシヨ。アレ。  
はいはい どうも (B はい) おかげさまで。 × よいしょ。あれ？

(B ン) ナンダベ Bサーン。

(B ん?) なんだろう Bさん。

003B : ウン。

うん。

004A : ワスレモノデナイベガ コレ。

忘れものでないだろうか これ。

005B : アーーーー マダ ワッセダ。

あー また 忘れた。

006A : Bサンノスカ。

Bさんのですか。

007B : ンダンダ。 {笑}

そうだそうだ。 {笑}

008A : ハー アメ フツテネガラ イーケンドー。

はあ 雨 降っていないから いいけれど。

009B : ンーーーー チョイチョイ ヤンダ。

うーん ちょいちょい やるんだ。

010A : ヤッパリ ヤッパリネ。

やっぱり やっぱりね。

011B : イヤイヤイヤ ドーモ。 アンタデネクテ ワガンネ。  
いやいやいや どうも。 あなたでなくて[は] だめだね。

012A : ハイハイ インデー。 {笑} {足音}  
はいはい それでは。 {笑} {足音}

[1] 22. 傘の持ち主を尋ねる

会話集1「21. 傘の持ち主を尋ねる－①相手の傘だった」の再録。詳細は解説 4.3を参照。

[2] 22. 傘の持ち主を尋ねる

公民館の和室で収録した場面である。AとBが並んで座っているところから演じていただいた。Bが先に立ち上がって和室の入り口に向かうところで、Aが忘れものに気づき、Bに声をかけるという流れである。この場面ではAの近くに配置した録音機の音声を採用したため、BがAから離れながら発言している011Bは後半になるにつれて声が小さく聞こえている。